

平成27年7月13日

関係機関長および関係各位

京都大学防災研究所長

寶 馨

### 教員の公募について

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当研究所は「災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究」を目的とする全国共同利用の研究所であり、5研究部門・6附属研究センターによって構成されています。平成22年度より、「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」に認定され、より広範な共同利用・共同研究を推進しております。

このたび、下記の通り教員を公募することになりました。つきましては、ご多用のところ、まことに恐縮ではございますが、関係各位の皆様方にご連絡いただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

### 記

1. **職 種**： 教授
2. **募集人員**： 1名
3. **勤務場所**： 地震・火山研究グループ 地震災害研究部門 構造物震害研究分野  
(所在地：宇治市五ヶ庄)
4. **職務内容**：  
地震災害の軽減を目的として、非線形・不整形な地盤応答を対象とした高度な地盤震動評価、地盤—基礎—構造物の動的相互作用を考慮した地震応答評価、あるいは建築構造物の耐震性能の定量的評価に関する研究を行うことにより、震害予測・耐震設計・耐震補強に資する研究を国内外の研究機関と連携して推進する。また、京都大学大学院工学研究科建築学専攻の教育を担当する予定である。
5. **資格等**： 博士の学位を有すること。  
国籍は問わないが、日常的に日本語が使えること。
6. **採用予定年月日**： 平成28年4月1日以降のできるかぎり早い時期
7. **任 期**： なし
8. **勤務形態**： 専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当）  
休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日及び夏季休業日
9. **給与・手当等**： 本学支給基準に基づき支給

- 1 0. **社会保険**： 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
- 1 1. **応募方法**： 次の (1)～(6) 各一式
- (1) 履歴書
  - (2) 研究業績一覧（査読付き論文とその他の論文、著書、解説、報告などに分けしたもの）
  - (3) 主要論文別刷（コピー可）5編
  - (4) 研究業績の概要（A4用紙2枚以内）
  - (5) 今後の研究計画及び抱負（A4用紙2枚以内、説明図の利用可：これまでの実績を踏まえてどのような研究を行うか、応募者の考えを示すこと）
  - (6) 推薦書（または、応募者について意見を伺える方2名の氏名と連絡先）
- 1 2. **書類提出先**：
- 〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付  
地震災害研究部門 構造物震害研究分野 教授候補者選考委員会 宛  
（封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書し、郵送の場合には書留にすること）
- 1 3. **応募締切**： 平成27年10月13日（火）【必着】
- 1 4. **選考方法**： 書類選考のうえ、必要に応じて面接を行います。面接等の詳細は、別途連絡します。
- 1 5. **問い合わせ先**：
- 〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付  
地震災害研究部門 構造物震害研究分野 教授候補者選考委員会 宛  
e-mail: apply\_staff[at]dpri.kyoto-u.ac.jp （‘at’を@に置き換えてください）  
（封書あるいは電子メールに限ります）
- 1 6. **その他**：
- 応募書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません。  
なお、京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待しています。

## 地震災害研究部門の概要

### 1. 研究目的及び研究内容の概要

地震災害研究部門では、地震動の生成・伝播特性・地震動の構造物への入力特性、構造物基礎の動特性、構造物ならびに構造物群の地震時挙動や耐震設計に関する基礎的学理の究明を行うとともに、地震災害の防止・軽減を図るための総合的研究を推進することを目的としている。現在、強震動地震学、耐震基礎、構造物震害の3研究分野から構成されている。

#### 強震動地震学研究分野

地震動災害の予測とその軽減を目的として、震源の物理に基づく波動生成と地殻内波動伝播メカニズムの解明、及びそれに基づく高精度強震動予測手法の開発を行う。

#### 耐震基礎研究分野

土木構造物に対する総合的な耐震理論の体系化をはかるとともに、地盤調査法や耐震化工法の開発および地盤—土木構造物系の合理的な耐震設計法を確立する。

#### 構造物震害研究分野

地震動の構造物への入出力特性、地盤震動、地盤—構造物の動的相互作用、ならびに建築構造物群の地震時挙動を究明するとともに、地震災害の軽減を図る。

### 2. 現在の教員構成 (平成 27 年 7 月 1 日現在)

研究分野	【教授】	【准教授】	【助教】
強震動研究分野	岩田 知孝	(公募中)	浅野 公之
耐震基礎研究分野	澤田 純男	後藤 浩之	(選考準備中)
構造物震害研究分野	田中 仁史*	(選考準備中)	

(\*平成 28 年 3 月 31 日定年退職予定。今回の公募ポスト)

#### ----- 共同利用・共同研究拠点について

個々の大学の枠を超えて、大型の研究設備や大量の資料・データ等を全国の研究者が利用したり共同研究を行う「共同利用・共同研究」のシステム、全国共同利用研究所として、防災研究所は共同利用や共同研究を推進してきましたが、平成 20 年 7 月に創設された、文部科学大臣による「共同利用・共同研究拠点」の認定制度により、平成 22 年度からは、新たに「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として共同利用・共同研究を推進しています。

なお、京都大学防災研究所の詳細は下記のホームページをご参照下さい。

<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>